

理事長挨拶



社団法人 大正琴協会理事長
海部俊樹

新年あけましておめでとうございます。

会員、愛好者の皆様には、お健やかに新年をお迎えのことと存じ、心からお慶びを申し上げます。

日頃は社団法人 大正琴協会の会務運営に格別なご理解とご支援を賜り感謝申し上げますとともに厚く御礼を申し上げます。

昨年2月中旬に当協会創立10周年記念演奏会を発祥の地、名古屋市内の大ホールにおいて3日間にわたり盛大に開催し、各地から集まった出場者4,566名の皆さんと共に祝福することが出来ました。しかし、余韻も覚めない束の間、イラク戦争が勃発したため、当初から予定していたテレビ東京系列の7局による演奏会記録の放映がかすんでしまい、全国にアピールする目的が果せず、苦い経験をさせられました。その後もテロの横行がやまず、暮れのイラン大地震など、地球上は神に見捨てられたような大厄の年になったことは衆知のとおりです。

国内でも、子供が親を、大人たちが子供を虐待する事件や、人の生命を軽んじる出来事が頻発したり、不作に乗じて他人の作物を一夜に盗み去る事件など人として、人間として守るべき道徳心の稀薄な現実を浮き彫りにした卑劣で無軌道な行為や事件で愕然とするばかりでした。

彼の剣豪 宮本武蔵は神仏は信ずるのではなく、敬愛するものと説いております。加護を期待する以前に自らを正すことが人の道であり、私利、私欲を肥やす生きざまを否定しておりました。

会員の皆さんは、大正琴を通して生涯学習を实践し、家族との恩愛の絆のもと、地域社会の一員として多くの人々との心のふれ合いを通して人の和、グループの輪を拡げ、お互いに心を癒すとともに地域のメッセンジャーとして一層のご活躍を念願する次第であります。

内を見ても、外を見ても政治、経済、社会情勢は決して平坦な道ではありませんが、急がず弛まず、悠久の大河を流れるように平穏で静かでありながら持ち前の秘めたるパワーを今年も発揮していただきたくことをご期待申し上げますとともに皆様のご健勝をご祈念申し上げて新年のご挨拶と致します。

第22回通常総会議事録

1. 日 時 平成15年12月10日(水)
開会 午後1時00分
閉会 午後2時00分
2. 場 所 東京都港区南青山4丁目17番58号
ホテルフロラシオン青山
3. 出席状況 会員の総数 4,500名
出席会員数 4,183名(委任状含む)

4. 議事の概要

(1) 開会

定刻に、司会者の北林篤理事が挨拶。
企画委員長岩間昌一常務理事が、開会を宣言。

(2) 理事長挨拶

理事長海部俊樹氏。

(3) 議長選出

司会者が、議長選出方法を議場に諮ったところ司会者一任の声あり。よって、副理事長加藤英也氏を本総会の議長としたい旨諮ったところ、全員一致をもって選出し、同氏は、これを了承し議長となり、挨拶をした。議長は、事務局に出席状況の報告をさせた。議長は、正会員現在数の4分の3以上の出席があったので、本総会が成立した旨を述べた。

(4) 議事録署名人選出

議長が、議事に先立ち議事録署名人2名の選出について諮ったところ、議長一任の発言があり、全員異議なく賛成したので、議長は、理事平野芳男氏及び同眞鍋義廣氏を指名し、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認した。被選任者らは、いずれもこれを承諾した。

5. 議 事

第1号議案 新常務理事及び

事業委員長選任報告に関する件

議長が、組織委員長奈須忠信常務理事に本件議案の説明を求めた。

奈須忠信氏は、御室泰常務理事兼事業委員長の後任として、理事会において、吉崎裕幸理事を常務理事兼事業委員長に選任した旨を報告した。

第2号議案 平成15年度

収支予算執行状況報告に関する件

議長が、事務局長笹倉辰行氏に本件議案の説明を求めた。

笹倉辰行氏は、予め配布した資料をもとに収支予算執行状況(平成15年4月1日から同年9月30日まで)について詳しく報告した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、本件を了した。

第3号議案 平成15年度

収支補正予算案承認に関する件

議長が、事務局長笹倉辰行氏に本件議案の説明を求めた。

笹倉辰行氏は、予め配布した資料をもとに平成15年度収支補正予算案を詳しく説明した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に諮ったところ、満場異議なく原案どおり承認可決した。

第4号議案 平成16年度

事業計画案承認に関する件

議長が、事業委員長吉崎裕幸常務理事に本件議案の説明を求めた。

吉崎裕幸氏は、予め配布した資料をもとに平成15年度事業計画案を詳しく説明した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に諮ったところ、満場異議なく原案どおり承認可決した。

第5号議案 平成16年度

収支予算案承認に関する件

議長が、事務局長笹倉辰行氏に本件議案の説明を求めた。

笹倉辰行氏は、予め配布した資料をもとに平成16年度収支予算案を詳しく説明した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に諮ったところ、満場異議なく原案どおり承認可決した。

6. 閉会

以上をもって、社団法人大正琴協会第22回通常総会の議案の全部を終了したので、議長は、議場にその協力を謝し、降壇した。そして、企画委員長岩間昌一常務理事が閉会を宣した。

上記決議を明確にするため、議長及び議事録署名人は次に署名押印する。

平成15年12月10日

社団法人大正琴協会 通常総会

議 長 加藤 英 也 印

議事録署名人 平野 芳 男 印

同 眞 鍋 義 廣 印

平成16年度事業計画(主要事業)

1. 生涯学習に関する普及・啓発活動

- (1) 第16回全国生涯学習フェスティバル大正琴合同演奏会
 - ・日 時 平成16年10月12日(火)
 - ・場 所 愛媛県松山市堀之内(松山市民会館を希望しています。)
 - ・趣 旨 大正琴を通して人々の生涯学習に対する意欲を高めるとともに、人々の学習活動への参加を促進するために開催します。
- (2) 体験学習・見本市への参加
 - ・日 時 平成16年10月9日(土)～同年10月13日(水)
 - ・場 所 アイテムえひめ(愛媛県国際貿易センター)大展示場
愛媛県松山市大可賀2-1-28
 - ・趣 旨 大正琴を通して生涯学習の普及・振興を図るため、フェスティバル会場への来場を呼びかけるとともに、より多くの来訪する人々に大正琴の演奏技法を体験していただき、生涯学習の意義をPRする。

2. 生涯学習に関する各種講座・講習会等の開催

- (1) 協会主催の講演会を2回開催する予定です。
- (2) 地域における各種講座・講演会の開催、生涯学習機会の提供等への援助(地方事業助成)

3. 演奏会、指導者研修会

- (1) 第16回全国生涯学習フェスティバル大正琴演奏会(愛媛県松山市)
- (2) 第13回大正琴定期演奏会(宮崎県 平成17年2月6日)
- (3) 地域における大正琴演奏会への援助
- (4) 指導者研修会の開催

4. 調査研究事業

- (1) 参加しやすい大正琴
- (2) 世代別の愛好曲の傾向

5. 出版物の刊行

- (1) 機関誌「協会だより」No.23、No.24
- (2) パンフレット「協会案内」



宮崎県会場 フェニックスリゾート

第15回全国生涯学習フェスティバル(沖縄) 見本市・大正琴合同演奏会のご報告

平成15年11月27日(土)から12月1日(月)までの5日間、沖縄県宜野湾市の沖縄コンベンションセンターにて第15回全国生涯学習フェスティバルが開催され、例年通り見本市へのブース出展と、大正琴合同演奏会を開催しました。季節外れの台風の強風により、野外体験広場が3日目から中止になるというアクシデントがありましたが、大正琴協会の事業は滞りなく実施できました。

同センター展示棟の大正琴協会ブースでは、連日大正琴を体験される方が溢れ、5日間で800名以上の方に簡単な曲の演奏を挑戦していただきました。また、11月29日(土)に行われた大正琴合同演奏会では、地理的な条件から当初は出場者の減少を懸念していましたが、予想に反して過去最多の1,839名(33グループ)の方にご出場いただき大成功を取ることができました。今回は演奏会場がフェスティバルのメイン会場の敷地内であったため客席は常時満席で、出場の方にも気持ちよく演奏していただけたことと思います。

最後に開催地沖縄県の行政各方面の皆様、そしてなにより過去最多となった合同演奏会出場の皆様のご協力に感謝申し上げ、お礼の言葉とご報告に代えさせていただきます。

第15回全国生涯学習フェスティバル主幹流派
大正琴合同演奏会 実行委員長
琴伝流 副会長 北林 豊



沖縄 生涯学習出展会場 秋葉宮殿下、妃殿下



沖縄 出展会場風景



琴協会



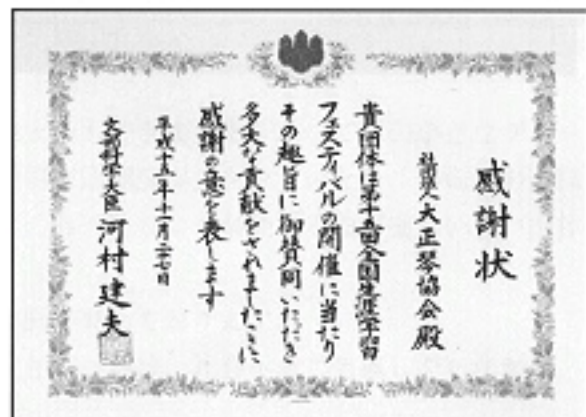
琴伝流



琴友会



琴伝流



講演会抄録

平成15年12月10日（水）の第22回通常総会終了後、ホテルフロラシオン青山に於いて、下記の講演会を開催しました。明るく健康的でユーモラスな語り口で、実技指導を組み合せ頗る好評でありました。

演 題：「健康療法 自強術」

講 師：堀井 恵子先生（社）自強術普及会静岡県支部長
NHK文化センター静岡校講師

受講者：120名

講演要旨

(1) 自強術の本態

日本人が日本人の為に作った日本最初の健康体操です。長寿社会における自力、自強（自から努め励む）によって健康保持するため、毎日勉めて休んではいけないという意味です。

(2) 自強術のメカニズム

- ・全部で31動作があり、身体可動の極限まで動かす全身運動。
- ・31動作の順番（解説図省略）があり、前の動作は次の動作の準備運動となり全身の調和がはかられる。

(3) 予防出来る主な病気

高血圧・動脈硬化症、糖尿病その他全身的な病気。



調査研究書の紹介

音楽教育と大正琴 ～中学校の場合～

平成14年度より新学習指導要領に基づいて音楽授業で和楽器の指導が義務付けられることになりました。当協会では、全国の中学校のうち約5,000校の中学校の先生方に和楽器指導についてアンケート調査を実施し、集計、分析結果をA4タイプで90数頁の報告書にまとめ、昨年の秋に市教育委員会等の関係機関に配布しました。概要の一部を紹介致します。

1. 回収率 34.2%
2. 音楽教育に取り入れる予定の和楽器(複数回答)
(1) 琴 34.2% (2) 太鼓 33.3% (3) 三味線 18.7% (4) 尺八 15.8%
(5) その他 6.2% (6) 大正琴 1.7%

※ お祭りや、郷土芸能との関わりが深いことや、庶民の生活に根付いている楽器を選択しておりますが、大正琴を今後、取り入れる予定については (1) すでに取り入れてる(0.9%) (2) 楽器があれば取り入れても良い(53.3%) (3) 将来取り入れる予定がある(3.9%)で58.1%の中学校で導入に前向きな考えを持っている結果が出ておりました。多少の余部を残しております。必要な方は、協会事務局までお申し付け下さい。

会員たより

宮崎市 手塚 光子

大正琴との出会い

こどもの頃、仕事の合間をみて、母がポロポロと大正琴をひいていたのが、琴との初めての出会いでした。

「53、53、123」と口ずさみながら私も遊んだ記憶があります。

それが今、毎日朝九時には「お早ようございます」と元気な声が出て元お嬢さん達がお見えになります。

「ボケ防止ネ」と言い乍ら、二十年来のベテラン揃いのおけいこが始まり、素敵な合奏曲の音が流れます。練習後のおしゃべりも、楽しいものです。経験豊かな方ばかりで、生活の糧となります。心がなごみ、あたたかさを感じる一刻です。

大正琴という共通の趣味を通じて、たくさんのお友達もできました。かつては、小さなグループだった宮崎同好会が会員も増え今では県立芸術劇場で定期演奏会をひらいたり、琴伝流の全国大会に出場しています。ロスアンゼルス、カナダ等の海外演奏にも参加するなど楽しい思い出作りもできました。

親睦の輪を拡げるために、他の演奏会にも、賛助出演等しております。

今まで以上に老人ホームやいろんな施設の慰問などを心掛け、社会へのご恩返しをしながら、生き生き人生を送りたいと思います。



(社)大正琴協会主要事業予定

☆平成15年度指導者研修会（中央事業）

- 日 時 平成16年3月3日（水）13時30分～
- 会 場 仙台ガーデンパレス「羽衣」
宮城県仙台市宮城野区榴岡四丁目1番5号
TEL. 022-299-6211
- 講 師 山田 隆先生（三重大学講師）
- 演 題 「邦楽と洋楽の違い」

☆第23回通常総会及び表彰式並びに講演会

- 日 時 平成16年6月16日（水）13時00分～
- 会 場 名古屋ガーデンパレス
名古屋市中区錦三丁目11番13号

☆第16回全国生涯学習フェスティバル大正琴合同演奏会

- 日 時 平成16年10月12日（火）
- 会 場 松山市民会館（希望会場）
愛媛県松山市

☆第13回定期演奏会

- 日 時 平成17年2月6日（日）
- 会 場 宮崎シーガイアサミットホール
（シェラトン・リゾート・フェニックス・シーガイア）
宮崎県宮崎市山崎町浜山
TEL. 0985-21-1133



神話・伝説のふるさとで遊みましょう

編集後記

干支の申(さる)は背骨と左右の肋骨の形象文字とか。伸(のびる)とか衣(ころも)と合わせて神(かみ)にもなります。飛騨地方の祭礼の幟の下隅に愛嬌たっぷりの「猿ぼぼ」が吊り下がる風習も神との因縁浅からぬ思いがします。また、日光東照宮の神馬厩舎の3猿の彫刻も馬との相性がよく、馬の守護神として存在感を保っています。

何事を見ても見ない、何を聞いても聞かないのだんまり猿は“謙譲の美德”とっておきましょう。情報化社会では、見聞を広げ、必要なことを申す申(さる)になることが望ましいと思います。

第13回定期演奏会は、古くは、日に向う国「日向国」と呼ばれた宮崎県です。そして、神話、伝説の宝庫でもあります。皆さんのチャレンジをご期待申し上げます。